



住吉大社の 石燈籠をめぐる

2019年3月3日（日）

13時30分出発 [所要時間：約60分]

住吉大社反橋前、絵馬殿付近に
10分前までにお集まりください。

募集人数／40名
(参加無料・当日受付)

[解説案内]

関西大学文学部 黒田 一充、同研究室の大学院生ほか

主催／関西大学なにわ大阪研究センター
協力／住吉大社

大阪市住吉区の住吉大社は古代から海の神、和歌・文学の神として信仰を集めてきました。とくに江戸時代に河川や海上の交通が発達して物流が盛んになると、船の安全を祈って石燈籠が寄進されました。現在も住吉大社には641基の石燈籠が残っており、その銘文には全国各地の廻船業者やさまざまな業種の仲間の名前が刻まれています。このたび総合調査をもとに作成したイラストマップを使って、境内の石燈籠を見て回るガイドツアーを開催します。

みなさまのご参加をお待ちしております。



南海高野線「住吉大社駅」下車すぐ。
阪堺電車「住吉島居前駅」下車すぐ。